学校番号	３００１

令和２年度　フラワーファクトリ科

教科	農業	科目	果樹	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「果樹」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業実習を中心に 11 種類の果樹栽培管理（土壌・施肥・水分・結実管理と整枝や剪定・病害虫の防除）、などについて学習します。年間を通じて主に 11 種類の果樹の安定した収量と高品質の果実が生産できるような栽培管理が主な実習作業になります。天候や気温などにより必ず計画通りの実習が出来るとは限りません。そのような問題解決のため、工夫や改善を行い、実践的な能力と態度を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

果樹の栽培管理に関して、花芽がいつ、どのような場所に形成され、いつ開花し、どのような枝や位置の果実がよく成長するのか理解し、さらに、いつ成熟し収穫できるのかなどについての基本的な知識、技能を身につける。また、販売実習を通じて近隣との交流などの体験を積み重ねることによりコミュニケーション能力高め態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	果樹の生育と栽培環境について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	果樹の栽培管理に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	果樹の土壌管理や剪定に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	11 種類の果樹の特性に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、栽培管理の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノート 課題など 販売実習の態度	学習状況の観察 ノート 課題など 販売実習の態度	学習状況の観察 ノート 栽培技術の習得状況について確認	学習状況の観察 ノート 学年度末にペーパーテストによる知識・理解の確認

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ウメ・ビワ・ナシ・ブドウ・モモの栽培管理	果樹栽培管理の知識と技術 販売実習	○ ○	○ ○	○	○	a:時期に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時期に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時期に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時期に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	ノート レポート 授業観察
2学期	カキ・ブドウ・ビワ・ナシ・ミカン・栗栽培管理	果樹栽培管理の知識と技術 販売実習	○ ○	○ ○	○	○	a:時期に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時期に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時期に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時期に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	ノート レポート 授業観察
3学期	カキ・ミカン・ウメ・ナシ栽培管理	果樹栽培管理の知識と技術	○	○	○	○	a:時期に応じた専門技術に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:時期に応じた専門技術についての諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 時期に応じた専門技術について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 時期に応じた専門技術について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	ノート レポート 授業観察 テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。